

# 小説翻訳の様子

——韓国語小説の日本語翻訳を中心に——

金 銀 英

Current trends in Japanese translation of Korean novels

by  
KIM Eunyoung

## 要旨

本稿は日韓翻訳研究の一環として、小説の翻訳について映画翻訳と比較しながらその翻訳法を概観し特徴について述べたものである。近年出版された韓国小説の日本語訳10作を対象に用例を集め調査した。

今回の調査で次の3点について述べた。

1. 他ジャンルに比べ追加が多い、2. 他ジャンルでは見られない多様な翻訳者注、3. 敬語の省略は他のジャンルと同じ傾向が見られ待遇表現研究において小説翻訳はよい研究題材になりうる。

従来の翻訳研究は文法や外国語教材としての役割が主であり、日本語と韓国語間の翻訳そのものにフォーカスを当てていなかった。この考察は、言語を主な観点とする研究が進んでいない日韓翻訳研究の基礎的研究であり、日韓翻訳研究及び映像翻訳研究に発展させたい。

キーワード：小説の翻訳、日本語翻訳、翻訳での注釈、翻訳者注、日韓の待遇表現

## 1 はじめに

日本における韓国小説の位置づけは長年にわたり幅広い読者が楽しむものではなかった。その形態も韓国小説選や短編集で紹介されることが多く、韓国現代文学の代表作とされる『태백산맥 (太白山脈)』の日本語訳版が出版されたのは1999年、『토지 (土地)』完全版が出版されたのは2016年である。<sup>注1)</sup>

そんな中2018年に『82년생 김지영 (82年生まれ、キム・ジヨン)』の日本語訳版が出版さ

れた。2010年代後半から一部の読者層が韓国小説に注目し始めたが、韓国小説が一般に広く話題に上ったのは『82年生まれ、キム・ジョン』が初めてであり、それから多くの韓国小説が「K文学」と銘打って日本に紹介されるようになった。2010年代後半から韓国小説の日本語訳版は出版される作品数だけでなく、翻訳を手掛ける翻訳家も増えてきている。一方、翻訳研究はこのような現状とかけ離れている。韓国小説の日本語訳を研究対象にしているのはボイス研究、外国語習得に関する研究が主である。

本稿では翻訳そのものに焦点を合わせ、2010年以降出版された日本語訳版を調査対象に韓国小説翻訳についてその翻訳手法について概観、特徴を探る。拙稿金(2018)<sup>注2)</sup>及び金(2019)<sup>注3)</sup>では絵本の翻訳、金(2020)<sup>注4)</sup>及び金(2021)<sup>注5)</sup>では映画翻訳、金(2022)<sup>注6)</sup>ではアニメーション映画の翻訳について概観してきた。これらは起点テキストや起点言語からの翻訳の際、挿絵や映像・時間の制限がかかるが小説はそのような制限がなく、絵本のように読者の年齢への配慮も不要であるため翻訳者の自由度は高いと予想される。本稿ではその自由度がどのように出現するのかを概観する。また敬語の翻訳についても考察する。拙稿で確認した限りでは日本語訳版では韓国語原作の待遇表現が省略される傾向にあったが、この省略の理由が先ほど述べた制約によるものなのかが自由度の高い小説の翻訳で確認できると期待している。

## 2 調査対象と用例の収集

調査の対象選定に当たり、本稿では近年の翻訳傾向を概観することを目的とするため2000年以降に出版され、韓国で出版された形態と同形態のものに限定した。つまり2000年代初頭までよく見られた日本の出版社が編集した短編集のようなものは対象にしなかった。また原作者が偏らず、翻訳者も偏らないようにすることで様々な翻訳事例を集められるように工夫した。表1が調査対象作品である。

用例収集は次の手順を取った。

- ①原作の通読と入力 — 原作内容を把握ながらデータ化及び翻訳結果の予測
- ②日本語訳版の入力と比較対照 — 原作と対になるよう日本語訳をデータ化、コーパスを作成及び相違点の確認
- ③日本語訳版の通読 — 原作との違和感の有無、原作内容との相違を再確認

その結果得られた収集の例を示す。なお、それぞれの括弧と記号が示すのは次の通りである。

原)：韓国語原作、訳)：日本語翻訳、〔 〕：筆者による日本語逐語訳

## ＜例1＞ 『82年生まれ、キム・ジョン』

原) 학부 이후에도 계속 공부하려 했던 정대현 씨는 집안 사정이 생겨 계획을 접어야 했다.

[ 学部以降も引き続き勉強するつもりだったジョン・デヒョンさんは家の事情で計画を諦めなければならなかった。]

訳) 데히ョン氏は 学部を出た後も勉強を続けるつもりだったが、家庭の事情のためにあきらめなくてはならなかった。

原) 3학년을 마친 후 뒤늦게 입대했고,

訳) そこで、三年生を終えたところで遅めの兵役につき、

原) 제대한 후에는 1년가량 휴학하고 부산 집에 내려가 살며 아르바이트를 했다.

[ 除隊後は1年ほど休学し、プサンの実家で生活しながらアルバイトをした。]

訳) 2年後に除隊した後は1年ほど休学して釜山の家で暮らし、アルバイトをしていた。

収集例のほとんどは例1のように読者が内容を理解するに不足ない翻訳で、波線で示したように日本人読者の理解を助けるための追加がよく見られる。他のジャンルでは省略や意識が多くみられたことから小説翻訳の特徴と言えよう。また翻訳者注が見られたのも小説翻訳ならではの特徴である。

表1 調査対象一覧

	日本語訳版 タイトル	翻訳者	出版 年度	原作 タイトル	著者	出版 年度
1	菜食主義者	きむ ふな	2011	채식주의자	한강	2007
2	亡き王女のためのパヴァーヌ	吉原育子	2015	죽은 왕녀를 위한 파반느	박민규	2009
3	殺人者の記憶法	吉川 凧	2017	살인자의 기억법	김영하	2013
4	春の宵	橋本 智保	2018	안녕 주정뱅이	권여선	2016
5	フィフティ・ピープル	斎藤 真理子	2018	피프티피플	정세랑	2016
6	82年生まれ、キム・ジョン	斎藤 真理子	2018	82년생 김지영	조남주	2016
7	娘について	古川 綾子	2018	딸에 대하여	김혜진	2017
8	ショウコの微笑	牧野 美加 他	2018	쇼코의 미소	최은영	2019
9	種の起源	カン・バンファ	2019	종의 기원	정유정	2016
10	あの子はもういない	小西 直子	2019	시스터	이두운	2016

## 3 小説翻訳の翻訳手法

追加、省略、意識の翻訳法について例を出しながら概説し他ジャンル、とりわけ映画翻訳のそれと比較する。

### 3・1 追加

原作にはなかった主語の追加や例1のように注の役割を担う追加が見られた。

#### <例2> 『殺人者の記憶法』

原) 일지를 썼다.[ 日誌をつけた]

訳) 日記をつけた。

原) 냉철한 복기.[ 冷徹な復碁]

訳) 囲碁の世界では勝負がついた後、冷静にその対局を検討する。

原) 뭐 그렇게 필요했던 것 같다.[ そんなのが   必要だったのだろう]

訳) 言ってみれば、僕は そんな作業を必要としていたのだろう。

例2では「僕は」と主語が追加され、韓国では“ある事柄を振り返る”の意味で広く使われる囲碁用語の「복기〔復碁〕」を日本人読者の理解を助けるために波線部で追加している。

#### <例3> 『殺人者の記憶法』

原) 박정희가 시월유신을 선포하고 종신독재를 꿈꿨다.

[ 박・ジョンヒが十月維新を宣布し終身独裁を夢見た]

訳) 朴正熙(박정희) 大統領は、「十月維新」<sup>\*9</sup>を宣布して終身独裁を夢見ていた。

原) 육영수가 총에 맞아 죽었다.[ ユク・ヨンスが銃に打たれ死んだ]

訳) 大統領夫人の陸英修(육영수)が銃弾を浴びて死んだ。

原) 지미 카터가 와서 박정희더러 독재 좀 그만하라고 하고 팬티만 입고 조깅을 했다.

[ 지미・카터가来て、박・ジョンヒに独裁は止めろと言い、팬티だけはいて조깅을 했다]

訳) ジミー・カーターがやって来て、独裁はもういい加減にしておくと朴正熙に言い、パンツ一枚でジョギングをした。

原) 박정희도 암살당했다.

訳) 朴正熙も暗殺された。

例3では日本でも知られているジミー・カーターには説明のための追加がないが、韓国現代史に疎い読者のために「(박정희)」「(육영수)」と読み方を示し「大統領」「大統領夫人」と追加が見られた。また、説明が長文になるため本文に落とし込めない「十月維新」は「\*9」の形で巻末注に回している。

映像の時間制限がある映画翻訳の場合、追加はほとんど見ることができず、画像は合っても音声流れない場面で吹き替え版に追加が見られた。

<例4> 『パラサイト 半地下の家族』<sup>注7)</sup>

〔40 記者 〕	原)	김 씨가 증발했다는 표현을 쓴다고 해도 전혀 어색함이 없습니다. 〔キム氏が蒸発したという表現を使ったとしても全く不自然ではありません〕
	字)	金氏が蒸発したと言っても／過言ではありません
	吹)	金氏が蒸発したと言っても過言ではありません。 <u>キム氏は見つかるでしょうか。</u>

字)は字幕翻訳、吹)は吹き替え翻訳である。原作では音がなく映像だけ流れるが、それは不自然と思ったのか<例4>のように日本語吹き替え版には「キム氏は見つかるでしょうか」と記者の音声追加されている。この追加は小説で見られる追加とは異なり映像の都合で追加された例であって、観客の理解を助けるものではない。字幕翻訳では追加部分がないことから必要不可欠な追加ではないことが分かる。

### 3・2 意識

小説翻訳では意識の例があまり見られなかった。

<例5> 『ショウコの微笑』

原)	그의 돌봄으로 뼈와 살이 여물었고 피가 돌았다. 〔彼の面倒見て、骨と肉が固まり血が巡った。〕
訳)	彼が面倒をみてくれたおかげで大きくなった。

祖父が孫を育てたことを表す内容の例5は筆者の逐語訳でも意味は通るが、意識をすることで分かりやすくなった例である。このような翻訳法は映画翻訳でも見られる。

<例6> 『タクシー運転手』<sup>注8)</sup>

〔24 デ モ 隊 〕	原)	그 재식아니 영어 쪼간 되잖애?〔あのジェシク お前 英語少し出来るだろう?〕
	字)	ジェシクは英語ができたよな
	吹)	おおい ジェシク お前 英語できるよな?

〔25  
デ  
モ  
隊  
2〕  
原) 잉 재식이 [ そう ジェシク ]  
字) ジェシク 来いよ  
吹) おお ジェシク 来いよ

〔26  
ジ  
ェ  
シ  
ク  
〕  
原) 팝송이나 부를 줄 알지 뭐 [ ポップソングを歌うくらいだよ ]  
字) やめろって なんで俺が  
吹) なんで俺が

ジェシクの照れくささをストレートにする意識である。

### 3・3 省略

省略の例もあまり見られなかった。

<例 7> 『82 年生まれ、キム・ジョン』

原) 차승연 씨가 졸업한 뒤에도 두 사람은 자주 연락하고 만났다.  
[ チャ・ソンヨンさんが卒業した後も 二人は よく連絡し合っていた ]

訳) スンヨン氏が卒業した後も [ ] よく会う仲だった

<例 8> 『ショウコの微笑』

原) " 쇼코야. 쇼코가 우리에게 다시 편지를 보냈다."  
[ ショウコだ。ショウコが 私たちにまた 手紙を送ってきた ]

訳) 「ショウコだ。ショウコから [ ] 手紙がきた」

例 7、例 8 は両方とも省いても差し支えない省略である。

また今回の用例収集では生活様式の違いによる省略も見られた。

<例 9> 『82 年生まれ、キム・ジョン』

原) 주말에 분리수거를 하면서 보니 폐지함에 초등 수학 문제집이 잔뜩 있었다.  
[ 週末にリサイクルゴミを出すとき目に入ったのだが、古紙箱に小学校の算数の問題集が  
どっさりあった ]

訳) 週末にゴミの分別をしながら見ると、[ ] 小学校の算数の問題集がどっさりあった。

韓国では居住スペースの近くに古紙箱を常設する所が多いが、日本は決められた一部の場所

を除くと常設の古紙箱がないための省略例である。

一方映画翻訳では小説より大幅な省略が見られる。

<例 10> 『タクシー運転手』

「02  
マン  
ソプ  
」

原) 마너 오늘 기사 잘 만난 줄 알아, 어? 판 기사 같았어봐, 돈이고 뭐고 벌써 서울 갔지, 짜식  
〔お前 今日 いい運転手に出会った事は分かっておけよ、あ? 他の運転手だったらお金  
でもなんでも(お金を出しても) とっくにソウルに帰ったさ、この野郎〕

字) 俺が運転手でよかったな / 他の奴なら  とっくに諦めてた

吹) おい 俺のタクシーに乗ってよかったな 他の奴だったら  とっくにソウルに引き返してるぞ ったく

原音を筆者逐語訳のようにすると時間内に収まらないため、字幕翻訳でも吹替え翻訳でも省略・意識をしている例である。

### 3・4 翻訳者注

他ジャンルでは見ることが少ない翻訳者注は作品ごとに異なる形式になっていた。巻末注や文末中、例 11 のように文中に括弧を用いて補う方法があった。

<例 11> 『82年生まれ、キム・ジョン』

原) "이건 또 무슨 유체 이탈 화법이야?

〔これはまたなんの幽体離脱話法なの?〕

訳) 「そりゃまたなんだよ、ジョン。幽体離脱話法

〔自分のことを他人事のように語る様子を指し、当事者責任を欠いたパク・クネ元大統領などがその代表といわれる〕

か?

翻訳者注は韓国の歴史、社会、制度に疎い日本人読者のためのものであるが、中には細かすぎる注を付ける例もあった。

拙稿金(2019)で調査した絵本『いたずら五にんぐみ オチョグニ』<sup>注9)</sup>で翻訳者注が見られた。この作品は韓国の伝統建築物についている屋根の飾り、瓦などが題材になるため巻末に写真と挿絵付きで注を付けている。この翻訳者注も小説の翻訳者注と同じ働きをしている。

#### 4 敬語の翻訳

金（2020）でも述べたが、日本語と韓国語間の翻訳作業では敬語の省略、または追加がよく見られる。韓国映画の日本語翻訳の翻訳例を収集した金（2020）では、韓国語原音は敬語になっている箇所が日本語翻訳になると削除された例が多く見られ、これらの削除により人間関係の親疎の描写が日本の観客には伝わりにくい結果となっていた。

今回の用例収集では次のような例が見られた。

##### <例 12> 『春の宵』

原) “면회는 잘 했어? 언니들은 어떠셔?”

[ 面会は無事済んだ?お姉さんたちはお変わりない?]

訳) 「面会はどうだった?義姉さんたちはどう?」

原) “뭘 어때? 늘 그렇지.”

[ 何がどうよ。いつもの通りよ]

訳) 「どうって、いつものとおりに」

原) “건강하시지?”

[ お元気だった?]

訳) 「元気だった?」

原) “내가 알 게 뭐야? 건강하겠지”

[ 私は知らない。元気だろうよ]

訳) 「知らないわよ! 元気なんじゃないの?」

入院している妻に妻の姉が面会に来て帰った後、夫と妻の会話である。原作では妻の姉は目上の人になるので夫は敬語を用いている。姉妹である妻は姉に敬語を使わないので日本語訳でもため口になっているが、原作は敬語になっている夫のセリフも日本語訳になると常体になる。

##### <例 13> 『ショウコの微笑』

原) “나에 대해서 쓰신 적은 없으셔?”

[ 私について書かれたことはないおありじゃないの]

訳) 「私について書いた手紙はなかった?」

原) “네가 미스터 김을 배다박았다고 좋아하셨어.

[あなたがミスターキムにそっくりだと喜んでらっしゃった]

訳) 「ミスターキムは、あんたは自分にそっくりだって、うれしそうだったよ。

原) 우리가 다시 편지를 주고 받게 되었을 때,

訳) 私たちがまた手紙のやりとりを始めたとき、

原) 미스터 김이 너에 대해서 얼마나 자랑을 했는지 몰라.

[ミスターキムがあなたについてどんなに自慢したか]

訳) ミスターキムはあんたのことを私にどれだけ自慢してたか。

原) 네가 만든 영화가 상영된 영화제에 다녀왔던 이야기도 쓰셨어.”

[あなたが作った映画が上映された映画祭に行ってきた話も書かれた]

訳) あんたが作った映画が上映される映画祭に行ってきた話も書いてあった」

ミスターキムと呼んでいる祖父と手紙のやり取りをしていた友人に「私について書いた手紙はなかった」と尋ねる場面で、韓国語では孫もその友人もミスターキムに対して敬語を用いているが日本語訳になると二人とも常体になる。

しかしすべての敬語が常体になるのではない。

<例 14> 『フィフティ・ピープル』

原) 한나는 시험 참가자들에게 꼼꼼하게 설명을 했다

訳) ハンナは試験の参加者たちにていねいに説明した。

原) “언제든지 그만 두셔도 돼요. 하셔도 돼요.

[いつでも辞められてもいいです。やることにしたけど最後までされなくてもいいですよ。]

訳) 「いつでもおやめになっていいですよ。参加なさったからといって、最後までやらなくてもいいですよ。

原) 제가 설명한 거 잘 이해하셨죠?”

[私が説明したこと、よく理解されましたか?]

訳) 私の説明、ご理解いただけましたか?」

主催側の人間であるハンナが参加者へ説明する場面である。親族に対する敬語は例 12 や例 13 のように常体になるが、ビジネスでの敬語はしっかり敬語として残ることが確認できる例だった。

映画での敬語翻訳は例 15 と例 16 の如くである。

<例 15> 『タクシー運転手』

「 06 ウ ン ジ ョ ン 」		原) 그 신발 이제 작단 말이야. [ その靴 もう 小さいの ]
		字) 靴が小さいの
		吹) その靴 もう小さいの

「 07 ウ ン ジ ョ ン 」		原) 저녁 드세요 [ 夕飯 召し上がってください ]
		字) 食べるよ
		吹) ご飯だよ

普段父親とタメ口で会話をするマンソクの娘ウンジョンであるが、[07 ウンジョン] のように韓国の習わしに従ってきちんと敬語を使う場面では敬語で反している。

<例 16> 『タクシー運転手』

「 07 サ ン グ の 母 」		原) 은정 아버지, 마침 잘 <u>오셨어요</u> [ ウンジョンのお父さん、ちょうどいいところに <u>来られましたね</u> ]
		字) いいところに <u>来たわ</u>
		吹) あらあら いいところに <u>来たわね</u>

「 07 サ ン グ の 母 」		原) 이거 이거 <u>어떻게 하실 거예요?</u> [ これ これ <u>どうするおつもりですか</u> ]
		字) この傷 <u>どうしてくれるの?</u>
		吹) この傷 <u>どうしてくれるの?</u>

ウンジョンの父はサングの家に間借りをしている。サングの父とウンジョンの父は友人であるため、サングの母はウンジョンの父に対して敬語を使うのが韓国でよく見る風景である。例 16 はウンジョンとのケンカで怪我をしたサングのことで怒っているサングの母がウンジョンの父に攻寄る場面である。韓国語だと敬語を使っているが、日本語になると常体になる。怒っていながらも礼儀をわきまえないといけない腹立たしさが日本語訳になると伝わらなくなり、ただ攻寄るだけの場面になる。例 12、15 は親族間の例であるが、例 13、16 で分かるように日本語訳は親族関係でなくてもプライベートの場面では敬体が常体になりやすいことが分かる。

映画や小説では架空の物ではあるが様々な人間関係が見られる。日韓の待遇表現研究の題材として翻訳物は多岐にわたった例を集めることが期待できる。

## 5 まとめ

2010年以降出版された韓国小説の日本語版10作を対象に小説翻訳における翻訳法と特徴について分類した。

他ジャンルと異なり追加が多く見られたこと、それに比べ他ジャンルでは多く見られた意識と省略が少なかったことが小説翻訳法の全体の様子だった。挿絵や時間・映像などの制限がなく自由度が高いことから追加が多く使われたと思われる。追加の拡張として巻末、文末、文中の翻訳者注がつくことは小説翻訳の大きな特徴である。翻訳者注はごく稀に絵本でも見られたが小説は翻訳者注がつく割合が多い。

今回の調査は敬語の翻訳にも注目した。他ジャンルでも敬体が常体に訳される例が多く見られたが小説でも同様の傾向にあった。特に親族関係になると話者が大人でも敬体が常体になること、親族関係でなくてもプライベートである程度親密な関係になると敬体が常体になる例が多く見られた。敬語が敬語として翻訳される例はビジネスの場面であった。このように翻訳物は多彩な人間関係でどのような待遇表現になるかを観察できるよい素材であり、自然会話を題材にする研究と合わせ研究を進める必要があると思われる。

この考察は、言語を主な観点とする研究が進んでいない日韓翻訳研究の基礎的研究であり、日韓翻訳研究及び映像翻訳研究に発展させたい。

### 参考文献

- (1) 両方とも第1巻の出版年。『太白山脈』はホーム社が全10巻で出版しており、第10巻は2000年に出版された。『토지 (土地)』は福武書店が原作の第1部のみを1983年～1986年に全8巻で出版、講談社がダイジェスト版を2011～2012年に全6巻で出版したが、完全版をクオンで手掛けている。2023年現在第17巻まで出版されており、全20巻になる予定である。
- (2) 金銀英：日本語絵本の韓国翻訳の傾向，下関短期大学紀要，37, pp1-17, 2019
- (3) 金銀英：韓国絵本の日本語版における傾向，下関短期大学紀要，38, pp1-12, 2020
- (4) 金銀英：字幕と吹き替えの翻訳傾向—韓国映画の日本翻訳を中心に—，下関短期大学紀要，39, pp1-13, 2021
- (5) 金銀英：字幕翻訳に見られる諸問題—映画の日本語・韓国語翻訳の場合—，下関短期大学紀要，40, pp1-12, 2022
- (6) 金銀英：アニメーション映画の翻訳の様子—日本アニメーションの韓国語翻訳を中心に—，下関短期大学紀要，41, pp1-19, 2023
- (7) ボン・ジュノ監督『기생충』(2019)、根本理恵訳『パラサイト 半地下の家族』(2020)
- (8) チャン・フン監督『택시운전사』(2017)、字幕：神田外国語大学訳・吹替え：本田恵子訳『タクシー運転手 約束は海を越えて』(2018)
- (9) チャン・フン監督『택시운전사』(2017)、字幕：神田外国語大学訳・吹替え：本田恵子訳『タクシー運転手 約束は海を越えて』(2018)